

目標達成計画

作成日: 令和 4年 10月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10(6)	【運営に関する利用者、家族等意見の反映】居室担当者が個別に日々の様子を電話や訪問時にお伝えしているが、その他にも3ヶ月に1回「まんじゅだより」にて行事や誕生日などのイベント等の様子を写真と便りでお知らせしている。しかし、面会制限の中、日常生活の個別の様子の情報提供の取り組みが不十分。	現在の日常の様子を定期的にケアの方法やA生活の状況等を情報発信することで、家族が安心でき、コミュニケーションの場とする。	毎月、「お便り」に食事・排泄・入浴・健康状態・普段の様子の5項目に分けて担当介護士が記載する。毎月16日に郵送する。6か月後(R.5.3頃)に家族の感想や意見をお聞きして、改善点があれば項目や内容を見直す。	12ヶ月
2	11(7)	【運営に関する職員意見の反映】運営や環境の整備に関して職員の意見をこれまでにも反映しているが、意見の内容やいつ、どのようなプロセスを経て運営方法が変更されてきたかの記録が不十分。	運営方法の意見や業務・ケアの検討をすることで、根拠のあるケアや業務改善に結び付けていく。	職員が気付いたことを見逃さないように「気づきノート」を取り入れ、職員の意見を反映する。定期的にGHの会議(月1回)やタイムリーに各GHのカンファレンスの場で検討していく。	12ヶ月
3		【その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】職員の新型コロナ感染があり、利用者に感染したことで、健康状態の悪化、ADLの低下など多大な影響を及ぼした。感染対策を強化する必要がある。	今回の事例から感染防止対策の問題点・課題を分析、職員が共有することで、利用者への感染を防止する。	問題点・課題に対する対策を検討。まんじゅの環境に適した感染対策、必要物品、職員の感染防止対策の意識の向上、知識、技術の習得、最新の感染対策の考え方等、施設全体で共有することで、感染を防止する。定期的に年2回の研修、随時対策の変更があれば、紙面等での情報共有をする。	12ヶ月
4	35(13)	【その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】現在自然災害のBCPの作成に取り組んでいるが、食糧備蓄はまんじゅの施設の中に無く、法人全体(病院)で保管している。緊急時に備え、備蓄できるものを検討する必要がある。	災害が発生すれば、施設の中でも一時的に空腹を満たし、不安や興奮をやわらげる為に、非常食の備蓄を準備する。	場所を取らず、長期間備蓄でき、消費期限が迫ればおやつとして提供できる、食べやすいチョコレートやラムネなどを準備する。各部署に備蓄する。	12ヶ月
5		【その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】今年度現在までに事故が4件 インシデント15件発生している。(4月～7月)重大な事故の発生を防止するためには、ヒヤリ、ハットの気づきの段階で対策を検討することが必要。	職員の事故防止、危機意識を高め、ヒヤリハットを報告、対策の検討、および共有することで、インシデント及び事故を減少させる。	ヒヤリハットの報告書を作成。どのような状況、原因・問題点、対策を検討し、職員全員が報告書を回覧し情報共有する。閲覧の署名をして周知の確認をする	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。